

# ASE665/666/667 補足説明書

## ■ASE665/666/667について

- ASE665/666/667は、ASE664のハードウェアと操作方法を継承しつつ、制御プログラムの変更により、各車種の適合を実現しました。
- 説明書は、ASE664（ASE665,666,667）共通のものとなっております。ASE664のイラストを使用し、各スイッチの操作方法はASE664と同様です。
- ご使用にあたって、本補足説明書およびASE664説明書も併せてご覧ください。



## 1. 適合車種

専用機種ですので、他の車種には適合致しません。

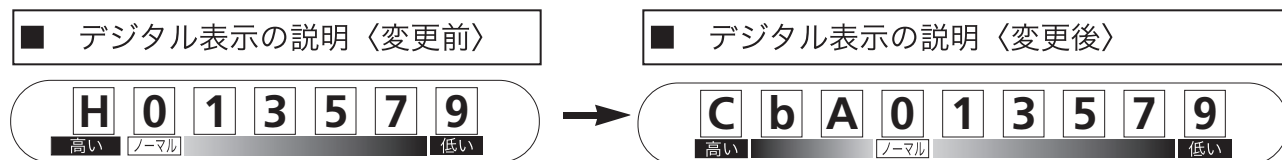
車種	型式	年式	本体	ハーネス	電源投入時の表示
ランドクルーザー100※	UZJ100/HDJ101	H10.2~H19.9	ASE665	H-07A	-A0-
クラウンマジェスタ	UZS171/173	H11.9~H16.6	ASE666	H-076D	-6C-
セルシオ	UCF31	H12.9~H15.7	ASE667	H-077D	-67-

※シグナスを含む

- IGキーONになり本体に電源が入った瞬間、上記表示されますが、これは本製品の特性によるもので故障ではありません。そのままご使用ください。
- 上記表示されない場合は故障の可能性があります。保証書を添えて倉敷支社サービス課までお送り下さい。

## 2. ハイトモニター表示モードの変更

取扱説明書のP.12で説明しています、ハイトモニター表示が一部変更になりました。

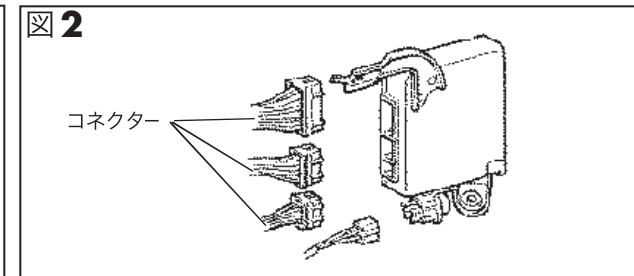
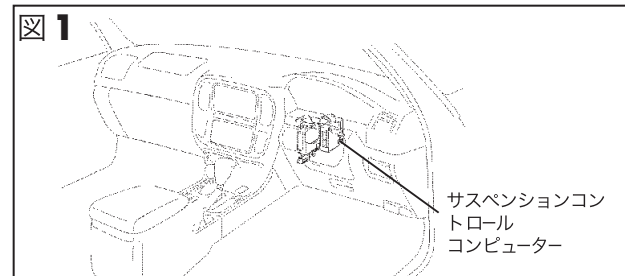


ご注意：当社に無断で取扱説明書の内容、写真、図の全部または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

# ASE665 ランドクルーザー100 補足説明

## 1. 取り付け方法

1. バッテリーのマイナス端子を、IGキーOFF後3分以上経過してから外します。
2. 運転席足下より上部のサスペンションコントロールコンピューターの位置を確認します（図1参照）。
3. サスペンションコントロールコンピューターの3つのコネクター（図2参照）を引き抜き、引き抜いたコネクターを専用ハーネスに、専用ハーネスのコネクターをサスペンションコントロールコンピューターにそれぞれ接続してください。
4. 専用ハーネスから出ているコネクターをASE665に接続します。
5. バッテリーマイナス端子を接続します。

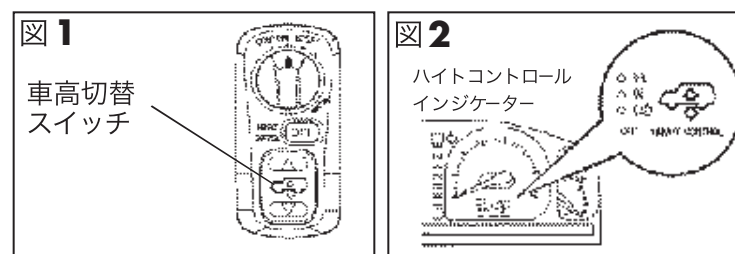


## 2. 車高設定

ランドクルーザー100の場合は、車高設定をASE665本体と車両側車高切替スイッチの両方で行うことになります。本体での車高設定は、取扱説明書P.9の「車高設定値表示モード（車高設定方法）」をご参照ください。車両側車高切替スイッチは、以下をお読みになり設定してください。

1. 車両側車高切替スイッチの設定がN（ノーマル）の場合  
車高設定はASE665本体の設定で決まります。
2. 車両側車高切替スイッチの設定がLO（LOW）の場合  
車両の車高切替スイッチ（図1）を下側に倒すとハイトコントロールインジケータ（図2）のLO（LOW）が点灯します。この状態でもASE665による車高設定が可能です。車高切替スイッチがLO（LOW）のときは、N（NORMAL）のときよりも車両停止状態で約4cm高い車高になります。走行をはじめ、車速が約5km/hをこえると車両のハイトコントロールインジケータのNが点滅し、車高が上がります（1.設定の車高状態に戻ります）。次に車高切替スイッチを操作するまで、車高切替スイッチはN（NORMAL）のままです。
3. 車両側車高切替スイッチの設定がHI（HIGH）の場合  
車両の車高切替スイッチ（図1）を上側に倒すとハイトコントロールインジケータ（図2）のHI（HIGH）が点灯します。この状態でもASE665による車高設定が可能です。車高切替スイッチがHI（HIGH）のときは、N（NORMAL）のときよりも車両停止状態で約4cm高い車高になります。走行をはじめ、車速が約50km/hをこえると車両のハイトコントロールインジケータのNが点滅し、車高が下がります（1.設定の車高状態に戻ります）。次に車高切替スイッチを操作するまで、車高切替スイッチはN（NORMAL）のままです。

※ 走行中は車高切替スイッチの操作はできません。



■ 新保安基準モード時  
H h 0 1 2 3 4 5

■ スペシャルモード時  
C b A 0 1 2 3 4 5 L

※ 車両側車高切替スイッチにより、ASE665の車高設定の有効範囲が変わります。

## 3. スwitch操作時の車両側インジケータの点灯

ASE665コントローラーを操作して車高を変化させる時、車両側ハイトコントロールインジケータランプ（HI・N・LO）が点灯（点滅）します。これらの動作は車高制御の応答性を向上させる為の動作ですので異常ではありません。また、車輛に悪影響を及ぼす事はありませんのでご安心下さい。

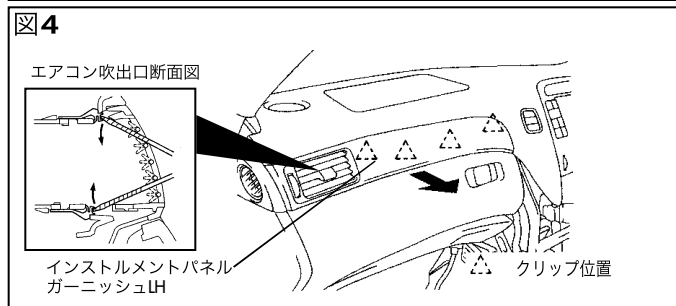
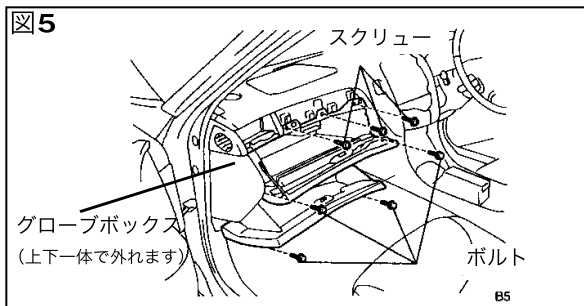
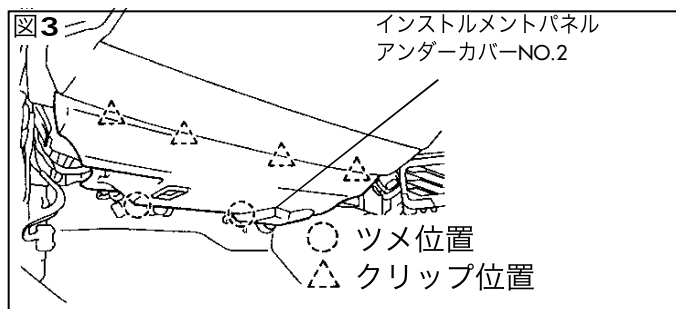
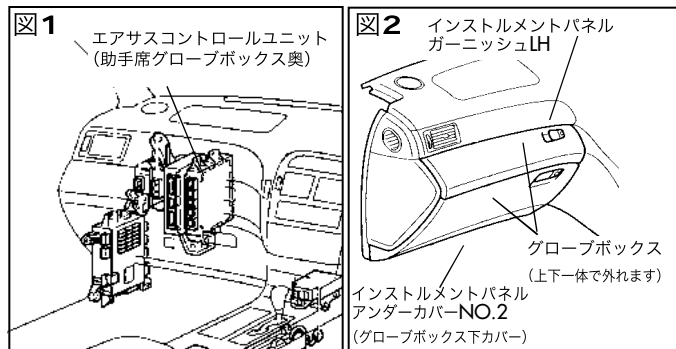
## 4. 注意事項

- ASE665には、車速感応ハイトコントロール機能はありません。
- ASE665で設定Cにしたまま車輛の車高切替スイッチにてHIを選ぶと、時速約50km/hまでは高い車高で走行可能ですので、車輛のアンテナや駐車場等で危険な様、車高を十分認識して注意して走行して下さい。
- 車高設定を行なう際は、ドアをすべて閉めてから行って下さい。ドアが開いている状態では車高変化は致しません。
- エンジン停止後も現状の車高を保持します（ノーマル車高には戻りません）。
- 車高を変化させる時は、車体の上部、下部、側面など周囲に障害物が無いことを確認してから行ってください。車体、周囲のものを破損するおそれがあります。
- 通常はノーマル設定で走行して下さい。

# ASE667 UCF31セルシオ 補足説明

## 1.取り付け方法

- 1.バッテリーマイナス端子を外します。
- 2.インストルメントパネルアンダーカバーNO.2を下方へ引き、クリップおよびツメのかん合を外します。コネクタを外しパネルNO.2を取り外します。(図2、3)
- 3.保護テープを巻いたマイナスドライバーを使って、インストルメントパネルガーニッシュLHのエアコン吹出口内部にある上下クリップのかん合を外します。(図4)
- 4.保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用してクリップのかん合を外します。インストルメントパネルガーニッシュLHを矢印の方向に引き出します。(図2、4)
- 5.グローブボックスのスクリュー3本、ボルト4本を取り外します。コネクタ類を切り離してグローブボックスを取り外します。(図5)
- 6.エアサスコントロールユニットのコネクタを外し専用ハーネスのコネクタをエアサスコントロールユニットに車両側ハーネスのコネクタを専用ハーネスに接続します。(図1)
- 7.専用ハーネスとエアサスハイトコントローラー本体を接続します。
- 8.取付が済みましたら、配線、取付場所の確認を行ってください。
- 9.バッテリーマイナス端子を接続し、エンジンを始動してコントローラーが正常に動作すること、車高が変化することを確認してください。
- 10.車高が変化しない、警告ランプが点灯などの症状が発生しましたら、再度コネクタの接続やコントローラーの設定、操作方法を確認してください。
- 11.正常であることを確認しましたら、コントローラー本体を付属の両面テープ(大)で他の部分と干渉しない場所に固定します。
- 12.取り外した内装などを元に戻して取付終了です。



## 2.車高変化値

- UCF31セルシオの場合は他の車両と異なり、フロントで +約20mm～-約70mm、リアで +約20mm～-約80mmの変化量になります。スペシャルモード時の車高UP設定は、A、b、C、d、Eの設定のみでFの設定はありません。
- 本体のモード切り替えについてはASE664取扱説明書P.7下段をご参照ください。

### ■ 新保安基準適合モード時

**HIGH** ノーマル **LOW**

[H] [h] [O] [1] [2] [3] [4] [5]

### ■ スペシャルモード時

**HIGH** ノーマル **LOW**

[E] [d] [C] [b] [A] [O] [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [L]

## 3.スイッチ操作時の車両側インジケータの点灯

UP,DOWNスイッチを押すと押しているあいだ車両側のエアサスインジケータランプが点灯します。これは車高制御の応答性を向上させる為の動作ですので異常ではありません。また、車両に悪影響を及ぼす事ありませんので御安心下さい。

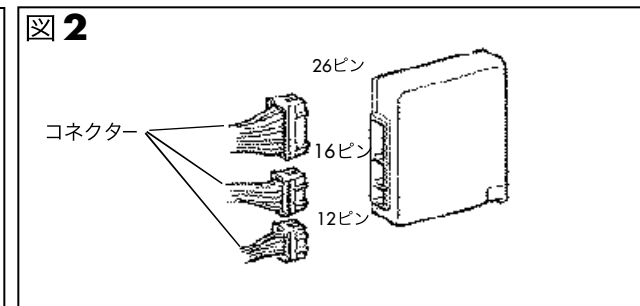
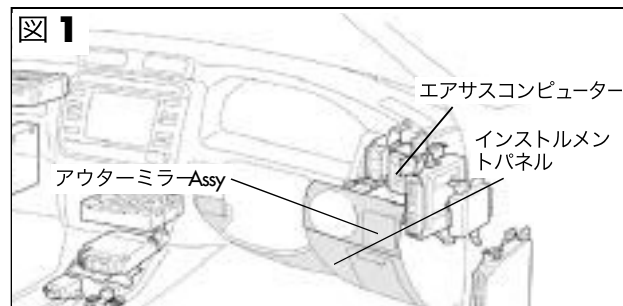
## 4.高速走行時の車高ダウン機能について

ASE667で車高設定時 (H1/H2/H3のいずれかで設定している場合。0設定時も含む) には走行速度が上昇しても、車高はASE667設定を保持するようになっており、車両が本来持つ高速走行時の車高ダウン機能は作動致しません。これは走行時の車高下がり過ぎによる、事故や車両損傷などを未然に防止する為の措置です。なお「NORM」設定時はASE667での制御は行いませんので、高速走行時の車高ダウン機能が働くようになります。

# ASE666 クラウンマジェスタ 補足説明

## 1.取り付け方法

- 1.バッテリーのマイナス端子を、IGキーOFF後3分以上経過してから外します。
- 2.アウターミラーAssyをクリップ (3本) を抜いて取外します。(図1参照)
- 3.インストルメントパネルをスクリュー (4本) を抜いて取外します。(図1参照)
- 4.ハンドル奥附近のエアサスコンピューターを探します。
- 5.エアサスコンピューターの3つのコネクタ (26P,16P,12P) を引き抜き、引き抜いたコネクタを専用ハーネスに、専用ハーネスのコネクタをエアサスコンピューターにそれぞれ接続してください。(図2参照)
- 6.専用ハーネスから出ているコネクタをASE666に接続します。
- 7.バッテリーマイナス端子を接続します。



## 2.車高変化値

- マジェスタの場合は他の車両と異なり、フロントで、+約20mm～-約50mm、リアで、+約20mm～-約60mmの変化量になります。
- 車高の上下幅は車両ハイトスイッチが「NORM」設定の場合の参考数値です。
- 車高設定については、ASE664取扱説明書P.9の「車高設定値表示モード (車高設定方法)」をご参照ください。

### ■ 新保安基準適合モード時

**HIGH** ノーマル **LOW**

[H] [h] [O] [1] [2] [3] [4] [5]

### ■ スペシャルモード時

**HIGH** ノーマル **LOW**

[H] [h] [O] [1] [2] [3] [4] [5] [L]

車高変化

(設定値H)



(設定値L)

